

【H28:情-3】三浦市公共下水道事業コンセッション推進に向けた 情報整備調査 (実施主体:神奈川県三浦市)

三浦市基礎情報(H29.2.1時点)
・人口:44.4千人(DID人口:27千人(H22))
・可住地面積:26.07km²(H23)

【事業分野:下水道】【対象施設:処理場・ポンプ場・管きよ】【事業手法:コンセッション】
【キーワード:コンセッション、VFM、リスク分担、マーケットサウンディング、インフォメーションパッケージ】

事業発案に至った経緯・目的

- ①本市が抱えている課題
耐用年数の超過に伴い下水道施設が老朽化している本市では、多額の地方債残高と低い経費回収率によって一般会計繰入金への依存が大きい。一方で、今後の市人口の減少により下水道使用料収入が減少すると同時に、市の厳しい財政事情を背景に下水道事業に従事する人員が今後も不足することが想定されている。
- ②上位計画との関連性
現在策定中の三浦市下水道事業経営戦略において、今後の検討課題として位置付けている。
- ③上記課題への対策としてこれまで実施している施策や調査等
今後の下水道施設の適正な維持を実施するため、平成27年10月に全体で約16%の下水道使用料値上げを行い、平成27年度には「三浦市公共下水道事業におけるコンセッション方式導入可能性調査」を行った。
- ④当該事業の発案経緯
現在、処理場とポンプ場において包括的民間委託を行っているが、今後増大する下水道施設の更新・改修の需要に対応するため、効率的運営のノウハウを有する民間事業者の力をさらに引出したサービス調達が求められている。

調査対象施設(対象地)の概要

①対象施設の状況

右表の通りとなっている。

料金収入:約250,029千円
維持管理費用:約258,115千円
(いずれも平成27年度決算)

施設名	施設規模	築年数	利用状況
東部浄化センター	処理能力: 8,050m ³ /日	18年	1.5系列 (3池)
金田中継センター	揚水能力: 12.0m ³ /分	20年	
管きよ	58.1km	~40年以上	

②対象地の状況

東部処理区の事業計画区域面積:234.9ha(全域が都市計画区域)

③地域住民や関係者のニーズ等の整理

財務状況の精査や長寿命化計画を通じた更新投資計画の検討により、参画しようとする民間事業者のノウハウや独自提案を引き出す実施方針を策定する。

④施設機能等の整理

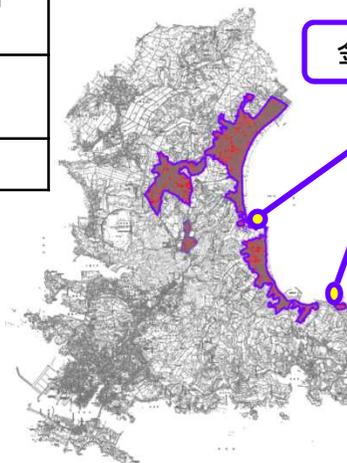
民間事業者に経営判断を委ね、アセットマネジメントの実施や維持管理費用・更新投資支出の縮減等、より効率的な老朽化対策を進める。

三浦市

■ 東部処理区
(事業計画 約235ha)

金田中継センター

東部浄化センター



【H28:情-3】三浦市公共下水道事業コンセッション推進に向けた 情報整備調査 (実施主体:神奈川県三浦市)

